

登録コード	HM101800	開講年度	2026				
授業題目	組織発生学特別研究				担当教員	城倉 浩平 他	
英文授業名	Research Thesis in Histology & Embryology				副担当	YUE FENGMING・友常 大八郎	
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力				組織学および発生学分野の課題に対して、新たな知見・技術を生み出す応用力を身に付けることができるようになる。		
(2)詳細/Detailed information	細胞生物学、発生学、再生医学分野の研究を通して、生命科学研究の基礎を習得する（仮説・課題設定、実験による検証、結果のまとめ、発表など）。						
(3)授業の概要/Overview of course	生命科学の分野について研究の実践、指導を行い、細胞生物学、発生生物学、再生医学に関わる課題について論文作成指導を行う。						
(4)授業計画/Course plan	（城倉浩平） 発生学、細胞生物学の手法を用いて、腎臓等の器官発生に関わる研究課題を指導する。 （友常大八郎） 発生生物学、分子生物学の手法を用いて、多能性幹細胞の未分化維持機構に関する研究課題を指導する。 （岳鳳鳴） 細胞生物学、再生医学の手法を用いて、疾患病態探索に関わる研究課題を指導する。						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	成績評価の方法： 課題研究の推進の実際と、取り組み方に基づいて評価する。 成績評価の基準： 組織発生学・細胞生物学・再生医学に関する課題研究を通して、新たな知見・技術を生み出す応用力を、基本的に修得することができれば、「水準にある(可)」 良好に修得することができれば、「やや上にある（良）」 優れたレベルで修得できれば、「かなり上にある（優）」 感心させるレベルで修得できれば、「卓越している（秀）」						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	履修上の注意： 学会出席などの場合を除き、出来る限り出席すること。 事前事後学習の内容： 課題について、文献や書籍を読んで理解を深め、問題解決に向けた方策を考える。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	質問・相談は、各担当教員のオフィス（医学部基礎棟 4 階 組織発生学教室）へ来てください。不在の場合は、教室の事務室で予定を確認してください。						
(8)授業の形式/Course format	実験を通した指導。						